

2022年10月19日

**明治安田生命 子育てに関するアンケート調査を実施（イクメン編）
～子育てで妻に協力するなら、洗濯よりも夜泣き対応！
夫が自他ともに「イクメン」となるためには、妻のニーズに沿った子育てを～**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、0歳から6歳までの子どもがいる既婚男女に「子育てに関するアンケート調査」を実施し、そのなかから10月19日のイクメンの日にあわせ、イクメンに関する調査結果をイクメン編としてご報告します。

1. イクメンの意識

- 夫をイクメンと思う妻は過去最高！しかし、自身をイクメンと思う夫は過去最低で、自身を「イクメン」と言いにくい状況が？
- ・子育て世帯の男女に「自身がイクメンかどうか」、「夫がイクメンかどうか」を聞いたところ、夫をイクメンだと回答した妻は63.5%で、昨年から1.0pt増加し、過去5年間で最も高い結果になった一方、自身をイクメンだと思うと回答した夫は、49.1%で、昨年（53.6%）から4.5pt減少し、過去5年間で最も低い結果に
- ・自身をイクメンと答える夫が減少するなか、夫の子育てへの参画状況について聞くと、「自身がイクメンと思わない」と回答した夫のうち約4割（41.1%）が「妻に言われなくても子育てをしている」と回答
- ・自己評価で「イクメンでない」とした夫のなかにも、主体的に子育てをしている人が一定数存在していることから、自身を「イクメン」と言いにくい状況があるのかもしれない。（その原因を次の章『2. 子育てで夫がしていること、妻がしてほしいこと』で分析）

2. 子育てで夫がしていること、妻がしてほしいこと

- 子育てで妻に協力するなら、洗濯よりも夜泣き対応！
夫が自他ともに「イクメン」となるためには、妻のニーズに沿った子育てを
- ・子育てにおいて、夫がしていることと、妻がしてほしいことについて聞いてみると、妻のしてほしいことと夫のしていることに、ミスマッチがあることが明らかに！
- ・特にミスマッチなのが、「子どもの夜泣き対応」（妻：42.2%⇔夫：21.3%）や「家族の料理を作る」（妻：56.9%⇔夫：39.1%）で、妻は夫にもっと協力してほしいのに、夫は対応できていないことが浮き彫りに！
- ・逆に「洗濯」（妻：39.8%⇔夫：48.4%）は、妻が望む以上に夫が協力しており、主体的に子育てに取り組むものの、妻のニーズに応えられなかった夫が妻からチクリと言われて、子育てに自信をなくしているのでしょうか？
- ・夫が自他ともに「イクメン」となるためには、妻のニーズに沿った子育てを

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1



3. 子育ての相談相手

■夫婦で協力した子育ては、妻から頼られる「イクメン」になることが重要！？

- ・子育てについて誰に相談するか聞いたところ、夫も妻も「配偶者」と回答した人が1番多い結果に
- ・しかし、夫は7割以上の人（75.8%）が「配偶者（妻）」に相談するのに対し、妻は「配偶者（夫）」に相談する人が半数以下（45.3%）と、大きなギャップが
- ・また、相談相手を「配偶者（夫）」と回答した妻のうち、76.7%が「夫をイクメンだと思っている」のに対し、「夫をイクメンと思わない」と回答した人は23.3%と、両者には3倍以上の差があり、妻は「夫をイクメンだと思う」ほど、相談相手に夫を選ぶ傾向が伺えます
- ・夫婦で協力した子育てでは、夫が「イクメン」となることで、妻に頼られる存在となることが重要なかもしれません

4. イクメンランキング

■イクメンと思う有名人 総合ランキング1位は「つるの剛士」さん

「スポーツレジェンド部門」では、「大久保嘉人」さんが1位に

- ・総合ランキングでは、昨年2位の「つるの剛士」さんが1位に返り咲き！
- ・スポーツレジェンド部門では、昨年ランク外の「大久保嘉人」さんが1位となり、見事、2022年度のイクメンオブザイヤー「スポーツレジェンド部門」を受賞！

■イクメンランキング【総合・部門別トップ】

総合	つるの剛士 さん
スポーツレジェンド部門	大久保嘉人 さん
バラエティタレント部門	はなわ さん
俳優・歌手部門	つるの剛士 さん

イクメンオブザイヤー初受賞

以上

<対象者の属性>

1. 調査対象

0歳から6歳までの子どもがいる既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2022年8月1日（月）～8月4日（木）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,100人

6. 回答者の内訳

(単位：人)

	夫婦共働き	妻（自身） が専業主婦	計
0歳から6歳までの子どもがいる既婚男性	330	220	550
0歳から6歳までの子どもがいる既婚女性	330	220	550
計	660	440	1,100

【目 次】

<u>1. イクメンの意識</u>	・・・ 5ページ
<u>2. 子育てで夫がしていること、妻がしてほしいこと</u>	・・・ 6ページ
<u>3. 子育ての相談相手</u>	・・・ 7ページ
<u>4. イクメンランキング</u>	・・・ 8～10ページ

1. イクメンの意識

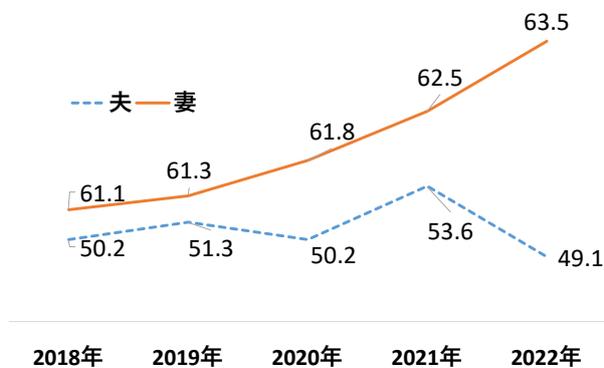
夫をイクメンと思う妻は過去最高！しかし、自身をイクメンと思う夫は過去最低で夫が自身を「イクメン」と言いにくい状況が？

○子育て世帯の男女に「自身がイクメンかどうか」、「夫がイクメンかどうか」を聞いたところ、「夫をイクメンだと思う」（「イクメンだと思う」「どちらかというといイクメンだと思う」の合計）と回答した妻は63.5%と、昨年から1.0pt増加し、過去5年間で最も高い結果になりました。一方、夫が自身をイクメンだと思う（「イクメンだと思う」「どちらかというといイクメンだと思う」の合計）は、49.1%で、昨年（53.6%）から4.5pt減少し、過去5年間で最も低い結果です。

○自身をイクメンと答える夫が減少するなか、夫に自信の子育てへの参画状況について聞いてみると、「妻に言われなくても子育てをしている」と回答した人は、54.2%と、半数以上の夫が主体的に子育てをしています。さらに、「自身がイクメンと思わない」と回答した夫も、約4割（41.1%）は「妻に言われなくても子育てをしている」と回答しており、自己評価で「イクメンでない」とした夫のなかにも、主体的に子育てをしている人が一定数存在していることがわかりました。

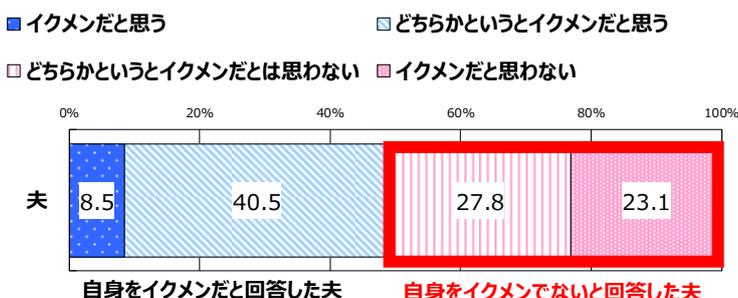
○夫はただ子育てをするだけでは、「イクメン」だと言にくい状況があるのかもしれませんが。

■自身をイクメン、夫をイクメンと思う人の割合（経年推移）

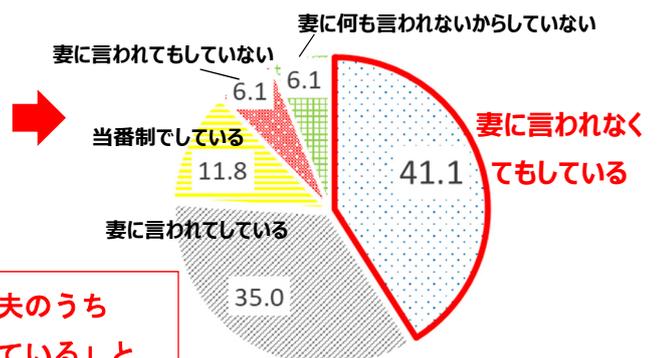


夫をイクメンと思う妻は増加傾向で過去最高（63.5%）
自身をイクメンと思う夫は昨年から減少し過去最低（49.1%）

■夫自身のイクメンの意識（2022年度）



■自身をイクメンでないと回答した夫の子育て参画状況



自身をイクメンでないと回答した夫のうち「妻に言われなくても子育てをしている」と回答した夫が約4割（41.1%）存在

2. 子育てで夫がしていること、妻がしてほしいこと

子育てで妻に協力するなら、洗濯よりも夜泣き対応を！
夫が自他ともに「イクメン」となるには、妻のニーズに沿った子育てを

- 夫が主体的に子育てをしても、イクメンと言にくい状況には何があるのか、子育てにおいて、夫がしていることと、妻がしてほしいことについて聞いてみました。
- 夫に子育てでしていること（休日）を聞くと、1位は「子どもをお風呂に入れる」（78.0%）2位は「子どもの着替え」（59.1%）の結果でした。
- 一方、妻が子育てでしてほしいこと（休日）の1位は、夫が実際にしていることと同じく「子どもをお風呂に入れる」（74.5%）でしたが、2位は「寝かしつけ」（61.6%）と、夫の回答とミスマッチが生じています。
- 特にミスマッチなのが、「子どもの夜泣き対応」（妻：42.2%⇔夫：21.3%）、次いで「家族の料理を作る」（妻：56.9%⇔夫：39.1%）で、妻はもっと夫に協力してほしいのに、夫は対応できていません。逆に「洗濯」（妻：39.8%⇔夫：48.4%）は、妻が望む以上に夫が協力しているようです。
- こうしたミスマッチから、夫が子育てに主体的に協力をして、妻から不満を漏らされることにつながり、チクリと小言を言われて子育てに自信を無くした夫が「自分自身をイクメン」と思えない状況があったのかもしれない。
- 夫が子育てに自信をもち、自他ともに「イクメン」となるためには、妻のニーズに沿った子育てをして、妻から感謝されることがポイントになりそうです

■妻が夫に子育てでしてほしいこと、夫が子育てで実際にしていること、

※ミスマッチ度とは「妻がしてほしいと思っている割合」と「夫が実際にしている割合」との差

	妻がしてほしいと思っている割合(A)	夫が実際にしている割合(B)	ミスマッチ度 (A-B)
子どもの夜泣き対応	42.2%	21.3%	20.9%
家族の料理を作る	56.9%	39.1%	17.8%
子どもの寝かしつけ	61.6%	52.2%	9.4%
子どもにミルクをあげる	25.8%	18.5%	7.3%
子どものオムツをかえる	57.1%	52.0%	5.1%
子どもの幼稚園、保育園の送迎をする	19.6%	17.5%	2.1%
子どもをお風呂に入れる	74.5%	78.0%	-3.5%
家の掃除	53.6%	58.2%	-4.6%
子どもの着替え	51.8%	59.1%	-7.3%
洗濯	39.8%	48.4%	-8.6%

↑ 妻がもっと夫にしてほしいこと

↓ 妻が望む以上に夫が協力していること

3. 子育ての相談相手

夫婦で協力した子育ては、妻から頼られる「イクメン」になることが重要！？

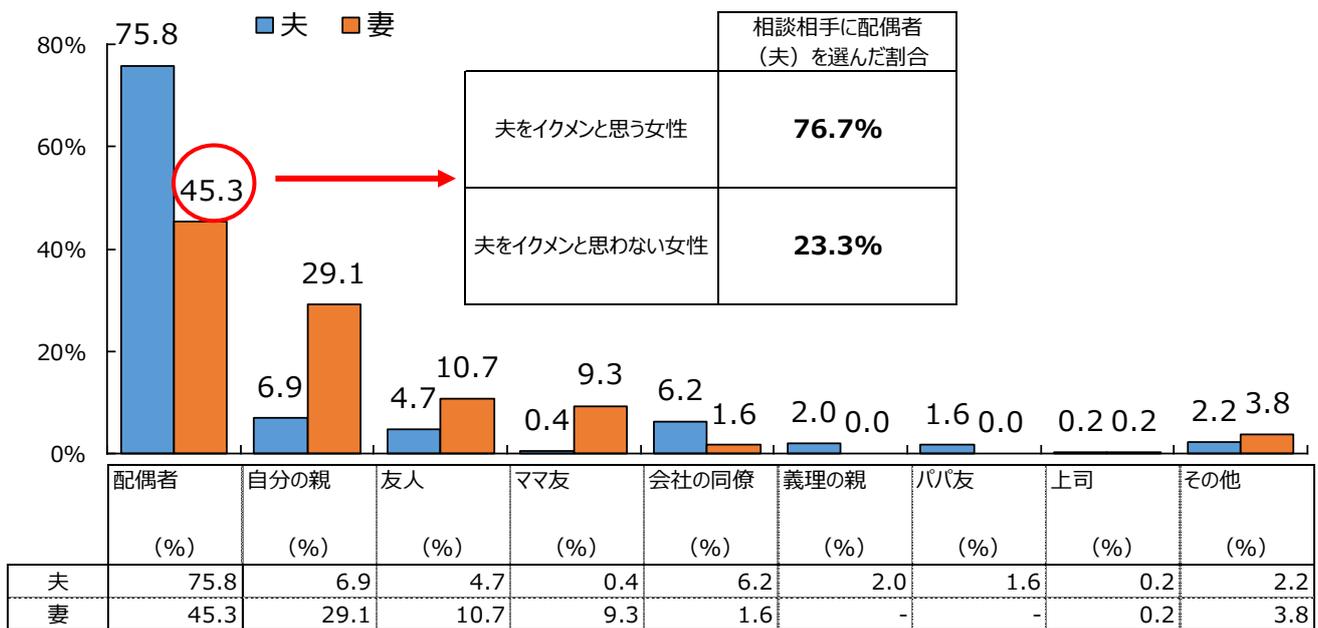
○子育てについて誰に相談するか聞いたところ、夫も妻も「配偶者」と回答した人が1番多い結果となりました。

○しかし、夫は7割以上の人（75.8%）が「配偶者（妻）」に相談するのに対し、妻は「配偶者（夫）」に相談する人が半数以下（45.3%）と、大きなギャップがみられます。

○また、相談相手を「配偶者（夫）」と回答した妻のうち、76.7%が「夫をイクメンだと思っている」のに対し、「夫をイクメンと思わない」と回答した人は23.3%と、両者には3倍以上の差があり、妻は「夫をイクメンだと思う」ほど、相談相手に夫を選ぶ傾向があります。

○夫婦で協力した子育てでは、夫が「イクメン」となることで、妻に頼られる存在となり、お互いが良き相談相手となることが重要なのかもしれません。

■子育てで相談する相手



4. イクメンランキング

イクメンと思う有名人 総合ランキング1位は「つるの剛士」さん
「スポーツレジェンド部門」では、「大久保嘉人」さんが1位に

- イクメンだと思う有名人、総合ランキング1位は「つるの剛士」さんで、昨年2位から見事返り咲きました。2位は「杉浦太陽」さん、3位は、これまでランク外だった元Jリーグ選手の「大久保嘉人」さんという結果となりました。
- 「杉浦太陽」さんは、妻である「辻希美」さんとの子育てを、自身のSNSなどで紹介されており、妻とともに協力しながら子育てをしている姿が、多くの女性の支持を集めたようです。
- 「スポーツレジェンド部門」では、総合ランキング3位の「大久保嘉人」さんが1位となりました。2位には、昨年はランク外だった格闘家の「魔裟斗」さん。3位には、元プロ野球選手「アレックス・ラミレス」さんがランクインしました。
- 「大久保嘉人」さんは、男性、女性双方から高い支持を集めました。4人のお子さんの子育てについて執筆された書籍では、自らを「主夫」と表現し積極的に子育てをする姿が紹介されており、子育て世帯の多くの人から共感を得ているようです。

■イクメンランキング 【総合・部門別トップ】

総合	つるの剛士 さん
スポーツレジェンド部門	大久保嘉人 さん
バラエティタレント部門	はなわ さん
俳優・歌手部門	つるの剛士 さん

イクメンオブザイヤー初受賞

■イクメンランキング【総合】（敬称略）

全体			昨年度 順位
1位	つるの剛士	16.6%	2位（↑）
2位	杉浦太陽	11.5%	1位（↓）
3位	大久保嘉人（サッカー）	6.9%	－
4位	石田明（NON STYLE）	5.4%	4位（－）
5位	アレックス・ラミレス（野球）	3.9%	3位（↓）
6位	はなわ	3.2%	7位（↑）
7位	エハラマサヒロ	2.5%	4位（↓）
8位	谷原章介	2.3%	4位（↓）
9位	藤井隆	2.2%	8位（↓）
10位	古坂大魔王	1.5%	－

男性		
1位	つるの剛士	18.4%
2位	大久保嘉人（サッカー）	8.5%
3位	杉浦太陽	6.0%
4位	アレックス・ラミレス（野球）	4.9%
5位	はなわ	4.7%
6位	石田明（NON STYLE）	2.5%
7位	藤井隆	2.4%
8位	田中裕二（爆笑問題）	2.0%
9位	谷原章介	1.8%
10位	エハラマサヒロ	1.6%

女性		
1位	杉浦太陽	17.1%
2位	つるの剛士	14.9%
3位	石田明（NON STYLE）	8.2%
4位	大久保嘉人（サッカー）	5.3%
5位	エハラマサヒロ	3.5%
6位	アレックス・ラミレス（野球）	2.9%
7位	谷原章介	2.7%
8位	古坂大魔王	2.5%
9位	水嶋ヒロ	2.4%
10位	藤井隆	2.0%
10位	中尾明慶	2.0%

■イクメンランキング【スポーツレジェンド部門】（敬称略）

全体			男性			女性		
1位	大久保嘉人（サッカー）	17.6%	1位	大久保嘉人（サッカー）	19.8%	1位	大久保嘉人（サッカー）	15.5%
2位	魔裊斗（格闘家）	11.3%	2位	アレックス・ラミス（野球）	9.8%	2位	魔裊斗（格闘家）	14.7%
3位	アレックス・ラミス（野球）	10.1%	3位	魔裊斗（格闘家）	7.8%	3位	アレックス・ラミス（野球）	10.4%
4位	北島康介（水泳）	4.5%	4位	北島康介（水泳）	4.0%	4位	北島康介（水泳）	4.9%
5位	井上康生（柔道）	3.9%	5位	井上康生（柔道）	3.6%	5位	井上康生（柔道）	4.2%
6位	川崎宗則（野球）	2.4%	6位	内藤大助（ボクシング）	2.9%	6位	マック鈴木（野球）	1.8%
7位	内藤大助（ボクシング）	2.2%	6位	川崎宗則（野球）	2.9%	6位	川崎宗則（野球）	1.8%
8位	マック鈴木（野球）	1.8%	8位	中村憲剛（サッカー）	2.2%	8位	内藤大助（ボクシング）	1.5%
9位	中村憲剛（サッカー）	1.7%	9位	野村忠宏（柔道）	2.0%	9位	中村憲剛（サッカー）	1.3%
10位	高橋由伸（野球）	1.6%	9位	高橋由伸（野球）	2.0%	9位	高橋由伸（野球）	1.3%

■イクメンランキング【歌手・俳優部門】（敬称略）

全体			男性			女性		
1位	つるの剛士	27.0%	1位	つるの剛士	29.6%	1位	杉浦太陽	26.2%
2位	杉浦太陽	19.9%	2位	杉浦太陽	13.6%	2位	つるの剛士	24.4%
3位	谷原章介	5.6%	3位	谷原章介	4.7%	3位	谷原章介	6.5%
4位	中尾明慶	4.7%	4位	小栗旬	4.2%	4位	中尾明慶	5.6%
5位	小栗旬	4.2%	5位	中尾明慶	3.8%	5位	水嶋ヒロ	4.2%
6位	水嶋ヒロ	3.4%	6位	ディーン・フジオカ	3.3%	5位	小栗旬	4.2%
7位	ディーン・フジオカ	2.9%	7位	ダイヤモンド☆ユカイ	2.7%	7位	ディーン・フジオカ	2.5%
8位	ダイヤモンド☆ユカイ	1.8%	8位	水嶋ヒロ	2.5%	8位	江口洋介	1.1%
9位	江口洋介	1.4%	9位	江口洋介	1.6%	9位	鈴木亮平	0.9%
10位	鈴木亮平	0.8%	10位	MAKIDAI (EXILE)	1.1%	9位	ダイヤモンド☆ユカイ	0.9%
			10位	向井理	1.1%			

■イクメンランキング【バラエティタレント部門】（敬称略）

全体			男性			女性		
1位	はなわ	11.4%	1位	はなわ	15.5%	1位	石田明（NON STYLE）	16.7%
2位	石田明（NON STYLE）	10.9%	2位	エハラマサヒロ	6.9%	2位	エハラマサヒロ	13.5%
3位	エハラマサヒロ	10.2%	3位	藤井隆	6.2%	3位	はなわ	7.3%
4位	藤井隆	5.6%	4位	土田晃之	5.5%	4位	藤井隆	5.1%
5位	庄司智春（品川庄司）	4.7%	5位	石田明（NON STYLE）	5.1%	5位	古坂大魔王	4.9%
6位	田中裕二（爆笑問題）	4.4%	6位	田中裕二（爆笑問題）	4.7%	6位	庄司智春（品川庄司）	4.7%
7位	古坂大魔王	3.9%	6位	庄司智春（品川庄司）	4.7%	7位	田中裕二（爆笑問題）	4.0%
8位	土田晃之	3.8%	8位	中田敦彦（オリエンタルラジオ）	3.6%	8位	ユージ	3.5%
9位	ユージ	2.6%	9位	古坂大魔王	2.9%	9位	山根良顕（アンガールズ）	2.5%
10位	伊達みきお（サンドウィッチマン）	2.3%	10位	澤部佑（ハライチ）	2.4%	10位	伊達みきお（サンドウィッチマン）	2.4%
10位	澤部佑（ハライチ）	2.3%						
10位	中田敦彦（オリエンタルラジオ）	2.3%						